

# 野田地域感染症情報

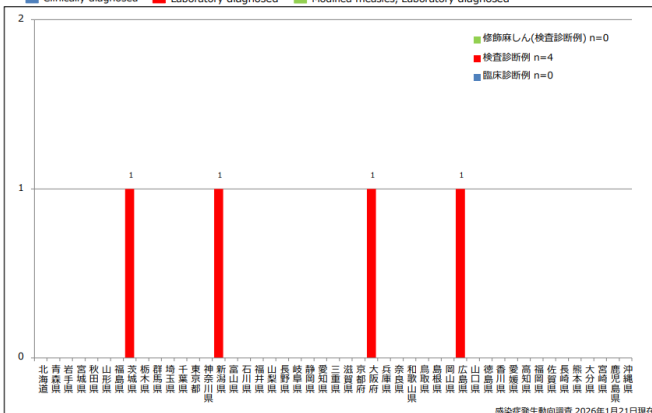
のた  
PHC

## 麻しんの発生報告が急増しています

### 全国的に麻しんの発生報告が増えています

#### 4. 都道府県別麻しん累積報告数 2026年 第1～3週 (n=4)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-3, 2026 (as of January 21, 2026)



▼ 引用・参考 麻疹 発生動向調査 速報グラフ 2026年 (国立健康危機管理研究機構)

### 主な発生状況

- 東京都 1/26 (30代男性、渡航歴あり、ワクチン接種歴1回)
- 千葉県 1/30 (30代男性、渡航歴記載なし、ワクチン接種歴なし)
- 松戸市1/30 (千葉県1/26公表者の移動関連情報)
- 東京都1/30 (千葉県1/26公表者の移動関連情報)
- 相模原市1/28 (20代男性、渡航歴記載なし、ワクチン接種歴なし)
- 長野市1/28 (相模原市報道の患者の移動に関する情報です、20代男性、渡航歴記載なし、ワクチン接種歴なし)
- 川越市1/30 (10代男性、渡航歴記載なし、ワクチン接種歴あり)
- 栃木県1/30 (20代男性、渡航歴あり、ワクチン接種歴不明)

左記表は、全国の2026年第1～第3週までの麻しん報告数です。1/18までの情報が現時点で最新となりますが、それ以降も、全国で麻しん発生の報道発表が相次いでいます。

### 予防接種を受けましょう

#### 《定期接種を受けましょう》

- ワクチンを1回接種することで、95%の人が麻しんに対する免疫がつくとされています。
- 確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくと言われる 2回の接種がのぞましいとされています。
- 接種歴は、母子健康手帳で確認できます。

#### 《ワクチンを接種した方がいい？》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

### 麻しんについて

- 感染経路に空気感染が含まれるため、空間を共有した可能性のある方は接触者として対応しています。
- 麻疹に対する免疫がない人が感染すると、ほぼ100%発病します。
- 潜伏期間は一般的に7～14日で、最大21日間とされていますので、この間は健康観察が必要になります。
- 発症の可能性のある期間は接触から5日後から最大21日までです。
- 発症前日から人にうつす可能性があるため、今、症状がなければ人にうつさないとは言えません。

### 麻しん患者と接触した時は・・・

#### 健康観察の方法

- 健康観察期間は、最終接触から21日間実施することが必要です。
- 1日2回(朝・夕)体温測定と、咳、鼻水等の風邪症状、発疹、結膜充血の有無を確認してください。

#### 発症時の対応

- 受診する際は事前に医療機関へ電話連絡し、麻しん患者と接触があったことを伝えてください。
- 受診方法は医療機関の指示に従ってください。

#### 保育園・学校・職場等所属先への連絡

- 保育施設・学校・職場・サークル等所属先に、麻しん患者と接触があったこと、麻しん罹患歴・ワクチン接種歴を伝え、出勤等については、所属の指示に従ってください。

#### 接触期間中に他疾患で受診する場合

- 事前に医療機関へ電話連絡し、麻しん患者と接触があったことを伝えてください。
- 受診方法は医療機関の指示に従ってください。

#### 同居家族の既往歴接触歴の確認を

- ご自身が仮に発症した場合には同じ空間を共有している同居家族も接触者となってしまいます。あらかじめ、ご家族の麻しん既往歴・接触歴を確認し、接触期間中は自宅内でも別室で過ごすなど、可能な限り接触を控えましょう。



発行 / 編集  
NDPHC | 千葉県  
野田保健所